

国 労 東 京

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1802

2017年

1月5日

2017年

安全・安定輸送と 労働条件改善に 全力をあげよう!

組合員・家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、地方本部を代表し挨拶を申し上げます。はじめに、緊急かつ最大の課題である組織強化・拡大の取り組みについてです。

各級機関・組合員の御奮闘の中、昨年一年間で新規採用者をはじめ二〇歳の貨物職場の青年たち、JESSプロパー社員など一人名の新たな仲間が国労加入が報告され、一括和解以降一・二名という数に到達しています。

日常的な職場改善活動の積み上げと分会運動の強化、世話役活動と交流を通じて信頼関係をつくり上げるなど、あらゆる取り組みが成果として表れたことは明白です。

また、JR 国連会社・プロパー社員の加入は、劣悪な労働条件・職場環境改善を真摯に取り組んできた



安全で安心して働ける職場を 執行委員長 鎌田博一

私たち国労への期待の現れであり、運動の正しさを実証するものです。とりわけ、グリーンスタッフの雇い止め問題や、JESSプロパー社員の制度改善を求め、奮闘し合うことが求められています。そして、後世に国労運動を継承・発展させていくという責務があるだけに、将来を見据えた組織の展望や運動の構築などについての議論をより一層深めていくことも重要な課題です。

今日までの先進的な行動の経験と教訓に学び合い、成果や課題を組織的に検証することが必要不可欠であり、情勢認識の一致と共有化を図る中で、すべての闘いを組織強化・拡大に集約し、精力的に拡大運動を共に追求していくことを強く訴えます。

次に、安全・安定輸送の確立をはじめとした職場労働条件改善を求める取り組みについてです。JR 発足三〇年を迎える中、JR 各社における重大事故の連鎖は止まらず、車両・設備故障や大規模な輸送障害とシステム障害、インシデントの多発は依然として解消されていません。

同時に、慢性的な要員不足と技術力低下によりグループ会社を含む労働災害の増加と拡大、労働条件の劣悪化が進むなど、安心して働き続ける環境が奪われ続けています。こうした背景には、全系統に及ぶ規制緩和・業務委託の推進をはじめ、相次ぐ効率化・外注化施策が大きな要因であることは明らかです。

JR 貨物会社においても、鉄道事業黒字化達成に向け、営業収益の拡大と輸送力の再編、多能化による働き度の向上など、際限のない合理化施策が押し進められ、JR バス会社では、競争の激化により乗務員の連続勤務をはじめ長時間拘束・不規則労働を強いられ、健康破壊が進み、安全・安定輸送が脅かされています。

安全・安定輸送の確立は、公共交通を担う輸送機関としての社会的使命であるだけに、安全で安心して働ける職場づくりと、安全・安定輸送への信頼回復に向けた取り組みをより一層強化するために、業務委託体制の検証、適正な人員配置や速やかな技術継承、人材育成と教育の充実など、抜本的な安全対策と労働条件改善を求めなければなりません。そのためには、取り組みの強化を図ってきた「安全・仕事総点検運動」を全機関から展開しチェック機能をより一段と高めるなど、すべての職場労働条件向上に向け、全力を挙げていきます。

次に、今日的な政治反動と平和と民主主義の課題についてです。安倍反動政権は一昨年九月、横暴的に違憲である安全保障関連法いわゆる「戦争

法」を強行採決・成立させ、法律を実体化するものとして「駆け付け警護」(宿营地共同防護)などの新任務を遂行するため、内戦状態にある南スーダンへいつでも交戦可能な準備と装備を整えた自衛隊を派遣しました。

さらに、オール沖縄県民の意志を踏みにじり「辺野古新基地建設」及び高江ヘリパット建設の推進、欠陥軍用機オスプレイの横田基地配備、福島原発事故の被災者の痛みと苦悩を蔑ろにした原発再稼働、思想・信条を取り締まる「共謀罪」の創設をはじめ社会保障制度改悪など、さらなる強権政治を推し進めようとしています。

そして労働分野においては、「生涯派遣」である労働者派遣法を改悪する一方、残業代ゼロ法案ともいべき労働基準法改悪案の成立を目論み、解雇自由法案の上程など、労働者保護法制の根拠を崩壊する動きを強めようとしています。極めて反動的な安倍政治路線・改憲策動・国民生活破壊と徹底的に対決し、安心・安定した社会の実現と戦争法廃止をはじめ護憲・平和と民主主義擁護、労働法制・社会保障制度改悪反対など幅広い戦線の

拡大と闘いの強化が、今まさに喫緊な課題として求められています。また、衆議院解散総選挙

の動向に注視するとともに、各種選挙において働く者の立場に立ち護憲を目指す候補者の必勝に向け、全力を挙げていきます。最後に二〇一七年春闘は、安心して生活できる賃上げ要求の獲得をはじめ、安全・安定輸送の確立と職場労働条件改善、組織強化・拡大の取り組み等と結合させ、全機関・全組合員が集結する春闘として展開していかねばなりません。同時に、改憲阻止・反戦・平和、脱原発など、国民的諸課題とも連動させた取り組みとしていくことが強く求められています。地方本部としても、職場からの春闘再生を目指し、奮闘する決意です。

春風献上

国鉄労働組合東京地方本部

- | | |
|-----------------|-------|
| 執行委員長 | 鎌田 博一 |
| 執行副委員長 | 山田 博樹 |
| 書記長 | 松川 聡 |
| 財政部長 | 田中 克幸 |
| 組織部長 | 佐藤 敏幸 |
| 教宣部長 | 常盤 達雄 |
| 政治部長 | 中澤 和夫 |
| 法対部長 | 恒本 肇 |
| 調査部長 | 横倉 一夫 |
| 福対部長 | 岡野 嘉明 |
| 執行委員 | 岸本 靖夫 |
| 執行委員 | 岡田 直之 |
| 会計監査員 | 広瀬 裕二 |
| 青年部長 | 吉田 茂 |
| 青年副部長 | 堀井 秀弥 |
| 書記局 | 中嶋 健太 |
| 〃 | 木村 洋希 |
| 〃 | 新井 清一 |
| 〃 | 井口 栄子 |
| 〃 | 小川美智子 |
| 【国労東京議員団】 | |
| 団 長 | 青山 秀雄 |
| 【国労家族会東京地方連合会】 | |
| 会 長 | 丸山みどり |
| 【鉄道退職者会東京地方連合会】 | |
| 会 長 | 堀本 秀雄 |

地本営業協議会 定期総会

東京地本営業協議会は、一月五日に南部労政会館において第二九回総会を開催した。総会前段には、月刊労働組合編集長の松上隆明さんによる講演学習会が行われた。総会で宮澤議長は職場での欠員状態、GSの採用終了でこれからの職場がどうなっていくのか、駅遠隔操作システムの実態、組織拡大などについてあいさつを行った。また、地方本部から松川書記長、JESS連絡会から金子副議長からあいさつがされた。

東京交運労協 定期大会

東京交運労協（東京都交通運輸産業労働組合協議会）は、一月二七日～二八日に鬼怒川温泉において第二五回定期大会を開催した。



高橋・新議長からあいさつ

大会では、この一年間の取り組みについて、二月に行われた春闘決起集会、制度・政策要求の取り組み、関東運輸局東京運輸支局との意見交換の内容などが報告された。また、バス部会、ハイタク部会、物流部会、鉄道部会、航空観光部会それぞれの取り組み、またブロックごとの取り組み

その後質疑応答で各職場からの報告がされ、「GSがいなくなる」とJESSへの委託が更に進むのか「職場で運転と営業の間にカベがある。国労が中心になり、このカベを払うため、双方に声をかけている」「窓口閉鎖、MV化でジパングなどの切符の発売をどうするか」「車いすの対応が悪くなっている。人がいない」「出向から戻る職場が無くなっている」などさまざまな実態が出され、また組織拡大への取り組みも報告された。

その後全体で、労働条件改善、仕事・安全総点検運動の取り組み、職場委託反対の闘い、安全・安定輸送の確立、労働災害防止の取り組みなどの二〇一六年度方針を確立して総会は終了した。

その活動報告もされた。

続いて二〇一六年度活動方針が提案され、二〇一六年一月に軽井沢町で発生したスキーバス事故をはじめとした安全問題、規制緩和の問題、また多発する自然災害に対応する必要性、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックが職場に与える問題への対応など、職場環境改善と社会的地位の向上など取り組みを強化していく方針が

東京全労協 定期総会 打ち破れ 官製春闘

東京全労協は一月三日に飯田橋・SKプラザホールにおいて第二七回定期総会を開催した。

二〇一五年度の活動経過報告がされ、一六春闘や反合理化、争議支援、政治課題、リーダー、組織強化・拡大などの取り組みの報告が出された。

その後二〇一六年度方針の提案・討論が行われ、一七春闘では「官製春闘」を打ち破り春闘の再生を目指す提案がされた。また、反合理化の闘い、総行動の強化、非正規労働者の問題とともに、「官製ワーキン



大森議長からあいさつ

グプア」と呼ばれる自治体臨時職員などの問題も提起された。

役員改選では、東京全労協議長に大森進さん（東京労組）を再選し、副議長には引き続き国労東京・中澤執行委員を、常任幹事には横倉執行委員が選出されている。

役員改選では、議長に高橋宏之さん（私鉄東京）が新たに選出され、国労東京・松川書記長が引き続き幹事に選出されている。

採択された。

二月八日に日比谷野音において、さよなら「もんじゅ」さよなら核燃サイクル東京集会所が主催し、核燃サイクル廃止を全体で訴えた。

主催者あいさつで、ルポライターの鎌田慧さんは「六ヶ所村（青森県）の再処理工場の試運転も失敗ばかり。すでに二兆円を使って全く展望が無い。それでも三〇〇〇トンの使用済み核燃料が現地に運ばれている。ここまで来ても、『もんじゅ』を断念させられていない。まだまだ私たちの運動の余地がある」などのあいさつをおこなった。

その後、もんじゅのある福井県から、原発に反対する県民会議、新もんじゅ訴訟団・海渡弁護士、福島県から東京へ避難し

さよなら「もんじゅ」 さよなら核燃 サイクル

「さよならもんじゅ」の運動は、さよなら核燃サイクル東京集会所が主催し、核燃サイクル廃止を全体で訴えた。

主催者あいさつで、ルポライターの鎌田慧さんは「六ヶ所村（青森県）の再処理工場の試運転も失敗ばかり。すでに二兆円を使って全く展望が無い。それでも三〇〇〇トンの使用済み核燃料が現地に運ばれている。ここまで来ても、『もんじゅ』を断念させられていない。まだまだ私たちの運動の余地がある」などのあいさつをおこなった。

その後、もんじゅのある福井県から、原発に反対する県民会議、新もんじゅ訴訟団・海渡弁護士、福島県から東京へ避難し



国労東京新春マラソン大会

2017年1月14日(土)

皇居1周 および 2周

12時開会式 12時30分スタート

参加費 500円 各地区本部・支部へ申し込みを

「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days》

保険期間：終身（抗がん剤治療特約は10年更新） 契約年齢：0歳～満85歳
Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 診断給付金	一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金*	治療を受けた月ごと 10万円 (給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき (更新後の保険期間を含め通算600万円まで) 治療を受けた月ごと 5万円 (給付倍率1倍)

* Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)
---------------------	---

©詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Affac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)
新生きるためのがん保険 Days Aプラン

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822
<引受保険会社>
アフラック 東京第二法人営業部
〒163-0456
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95